

# 低温やけどに注意

## 低温やけどに気をつけて

低温やけどは、心地良く感じる程度（体温より少し暖かい温度）のものでも、皮膚の同じ部分が長い時間接触していると発生するやけどです。

熱いものに接触している皮膚の温度とやけどになるまでの時間はおよそ次のとおりです。

44℃では3時間から4時間

46℃では30分から1時間

50℃では2分から3分

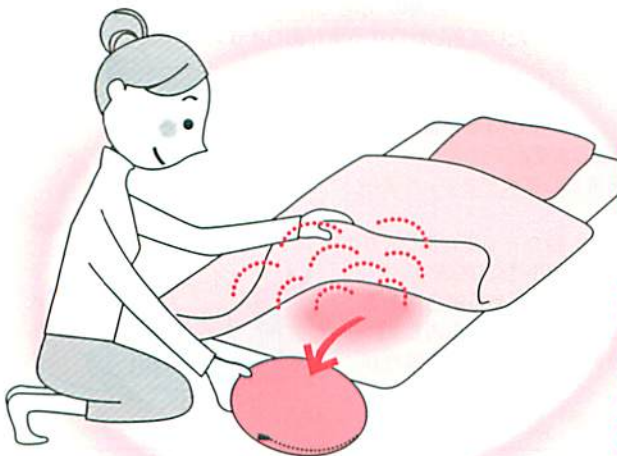
（出典：山田幸生、「製品と安全第72号」低温やけどについて、製品安全協会）



## 低温やけどを防ぐために

### 布団から出して使用する

布団が暖まったら、ゆたんぼを布団から取り出して就寝すると、低温やけどの危険性はありません。このような使い方をおすすめします。



### ゆたんぼの低温やけど対策用品を使う

低温やけど対策用品が市販されている場合には、それらを使うと低温やけどの防止には効果的です。

### 一定時間ごとにゆたんぼの位置を変える

保護者や介護など周囲の方がいる場合は、身体の同じ部位に触れ続けないう、時々、ゆたんぼの位置を変えてあげてください。

### 厚手のタオルで包む

必ずしも低温やけどの防止には効果がありませんが、付属や市販しているゆたんぼカバーを使用し、その上から厚手のバスタオルや布で包むと、表面温度が下がるため、低温やけどを生じるまでの時間は長くなります。低温やけどは皮膚の深いところまで達することがあります。万が一、低温やけど（皮膚の変色や痛み）が起きたときには、すぐに専門医の診断を受けてください。

※SGマーク制度とは、製品安全協会が定めた認定基準に適合した製品にのみ表示され、その製品の欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度である。SGマークシールに記載された期間年数は、補償に対する期間であり、製品の耐用年数を保証した期間ではありません。



SGI場等登録番号29-003

マルカ株式会社

〒661-0976 尼崎市潮江5-7-10  
TEL. (06) 6423-3971



## 爆発等、重大な事故を起します。キャップ(口金)は必ず外す事。

- コンロ、ストーブ、IHクッキングヒーター等の熱源で直接沸かす場合は、必ずキャップ(口金)を外してください。キャップ(口金)をしたまま沸かすと爆発等重大な事故を起します。
- 誤ってキャップ(口金)をしたままコンロ、ストーブ、IHクッキングヒーター等の熱源に掛けた場合、沸騰状態でキャップ(口金)を外すとお湯が噴出して大変危険です。お湯が冷めてからキャップ(口金)を外してください。熱源を止める時は爆発等が起きないか十分気を付けてください。
- 電子レンジでのご使用は絶対にしないでください。



### ご使用前に

- 1 お湯は口元いっぱいまで入れてください。お湯が少ないと湯たんぽ内部の空気層が多くなり、凹みやキャップ(口金)が開けにくくなる原因になります。
- 2 IHクッキングヒーターで沸かす場合、その取扱説明書を確認してご使用ください。器具によっては適合しないものもあります。
- 3 コンロ、ストーブ、IHクッキングヒーター等の熱源で沸かす場合は、沸いたお湯の“ふきこぼれ”に注意してください。
- 4 直接熱源で沸かすと表面のメッキが傷み、早く腐食し、穴があいたり変色したりする事があります。
- 5 絶対に直接手で触れないでください。熱湯を入れるので素手で触るとやけどをします。軍手、ミトン等を使用してください。
- 6 必ず水道水を使用してください。他の水の場合、中に含まれている物質により湯たんぽの素材が傷つき、早く穴の開く原因になる事があります。
- 7 キャップ(口金)は確実に締め、お湯が漏れないことを確認してください。お湯が漏れるとやけどをします。
- 8 中の空気圧力により空気がキャップ(口金)に集中するため、音がする事があります。キャップ(口金)を緩めて空気を抜き、締め直してください。音が小さくなります。
- 9 使用前にパッキンにひび割れ等の破損がないか確認して、異常がある場合はお湯漏れの原因となりますのですぐにお取替えください。目安は約1シーズン以内です。
- 10 製造工程上で使用する油が内部に多少残っている事があり、ニオイがする場合があります。その時は数回水で洗ってください。
- 11 熱湯を入れるので危険です。お子様が触れないようにご注意ください。



### ご使用時に

- 1 布製の袋に入れてご使用ください。熱すぎる場合は、さらに他の布で包んで調整してください。
- 2 既成の湯たんぽ袋をご使用の場合は、その説明書をよく読んでご使用ください。
- 3 湯たんぽに使用のお湯(水)は、絶対に他に使用しないでください。
- 4 必ずキャップ(口金)を上向きにしてご使用ください。裏向きですと、使用時に何等かの衝撃でキャップ(口金)が緩み、お湯が漏れる恐れがあります。
- 5 上に乗ったり、重いものを載せたり、強い衝撃を与えないでください。

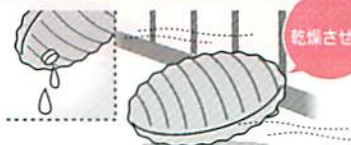


## 6. 低温やけどにご注意ください。

○長時間湯たんぽに触れていると低温やけどを起します。 ○詳しくは、“低温やけどに注意”をよくお読みください。

### 収納時に

- 1 しっかりと水を切り、日当たりの良い場所で乾燥させ、完全に乾かしてから収納してください。中に水分が残っていると錆の発生を早めます。
- 2 キャップ(口金)は、中に湿気が入らない程度に軽く締めてください。中に湿気が入ると錆の発生を早め、強く締め過ぎると次のご使用時に外れない場合があります。湿気の少ない所で保管してください。



### 湯たんぽについて

- 1 湯たんぽの中には凹みを防ぐために支柱が付いています。支柱は倒れないようにしていますが、万一支柱が倒れるとカラカラと音がしたり、湯たんぽが変型します。変型した湯たんぽは、お湯漏れややけどを起しますので、ご使用しないでください。
- 2 錆で穴があきます。湯たんぽ本体は鉄製ですので、通常のご使用でも錆により穴があきます。ご使用前に必ず点検し、穴が開いていたら使用しないでください。お湯が漏れて大変危険です。

※説明書をよく読んでお使いください。万一誤った使用によって事故等が発生したときは責任を負えません。